



もいわ南麓

文化祭を終えて

生徒活動部 吉田 しのぶ

10月17日(金)、第2回文化祭が開催されました。今年度はインフルエンザの感染拡大防止のため、当初の予定より2週間の延期となりました。行事予定の変更により、限られた時間の中での準備活動となりましたが、生徒たちは決してモチベーションを失うことなく、互いに声をかけ合いながら、より一層意欲的に取り組む姿が見られました。装飾や展示を工夫し、ステージ発表の練習を重ねる中で、生徒たちの表情は日ごとに生き生きとしたものになっていきました。

今年度の生徒会テーマ「綾」には、「様々な色や形をもつ私たちが協力し合い、生徒全員で美しい模様を創り上げたい」という願いが込められています。その願いの通り、校内を彩る装飾、工夫あふれる展示、目を引くステージ発表、そして心をひとつにして歌い上げた学年合唱、どの場面にも、生徒一人ひとりの個性と努力が垣間見えました。多様な個性が織り重なり、互いを認め合いながら創り上げた光景は、まさに「綾」の名にふさわしい文化祭となりました。

文化祭は、生徒が主体的に活動し、仲間と協力して目標を達成する貴重な機会です。準備の過程では、企画を立て、役割を分担し、意見の違いを調整しながら、一つの形をつくり上げていきます。その中で「自ら考え行動する力」や「他者と協働する力」、そして「最後までやり遂げる力」が育まれます。結果だけでなく、試行錯誤を重ねた過程こそが大きな学びとなり、今後の学校生活や将来への成長の糧となることでしょう。

当日は多くの保護者の皆様にご来校いただき、温かい拍手や励ましの言葉をいただきました。生徒たちにとって、その一つひとつが大きな喜びと自信につながりました。ご理解とご支援に心より感謝申し上げます。今後とも、藻岩中学校の教育活動にご協力をお願いいたします。

生徒配付のプリントをご覧ください。

11月の教育活動

日	曜	主な予定	給食
1	土		
2	日		
3	月	文化の日	
4	火		○
5	水	諸費再引落日	○
6	木	3年学力テストC (授業時間 55分特別日課) 1・2年午前授業	○
7	金	2年学年集会 放課後生徒会ボランティア②	○
8	土		
9	日		
10	月	職員会議 完全下校 部活動休養日 期末テスト得点通知表配付 学校公開日⑧	○
11	火	委員会・局会・全協	○
12	水		○
13	木	学校評価保護者用配信 学力テストC得点通知表配付	○
14	金	出前進路講座(視聴覚室 15:00～)	○
15	土		
16	日		
17	月	本の見本市(第2理科室) PTA役員会④	○
18	火	3年進路写真撮影(5時間目) 学校評価保護者用×切	○
19	水	教育相談日①	○
20	木	教育相談日②	○
21	金	教育相談日③	○
22	土		
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	給食週間(～28日)	○
26	水		○
27	木		○
28	金	諸費引落日	○
29	土		
30	日		

※詳細は「月行事予定」を御覧ください。

学校諸費 引き落としのお知らせ

11月28日(金) (再引落日 12/5)

は、諸費引き落とし日となっています。配付いたしました『学校徴収金納入一覧』を御確認の上、御準備お願いいたします。

※引き落とし手数料1回10円を加算して御入金下さい。

☆お願い☆

今年度も保護者用学校評価アンケートは「すぐる」のアンケート機能を使い、実施させていただきます。

11月13日(木)配信
18日(火)×切

となります。御協力をお願い致します。

家庭内での情報モラル ルールの作り方

ネットトラブルの実態やネットモラル向上啓発等を目的としてコラムを掲載致します。

【SNSの特性を知っておこう】

～フィルターバブルとエコーチェンバー～

SNSは便利な情報収集手段の1つですが、その特性を理解しておかないと偏った情報に影響を受けてしまうことがあります。その代表的な例が「フィルターバブル」と「エコーチェンバー」です。

「フィルターバブル」とは、SNSや検索エンジンが、利用者の興味や過去の行動に基づいて情報を選別します。その結果、似たような内容ばかりを表示し、ほかの情報から隔離されることで、考え方や価値観が孤立してしまう現象です。自分にとって心地よい情報しか目に入らず、多様な意見に触れる機会が減ってしまいます。

「エコーチェンバー」は、自分と同じ意見をもつ人たちが集まり、特定の考え方が繰り返して強化される現象です。例えば、SNS上で同じ意見の人とばかり交流することで、多数の人が同じ意見を支持していると信じ込んでしまうことがあります。

SNSの情報は必ずしも中立ではないことを理解し、異なる意見にも目を向け、情報を多角的に捉えることが大切です。SNSだけではなく周囲の友だちや

ご家庭で対話することで、自分の意見が偏っていないか、客観的に見るができるようにしましょう。

